

令和5年度事業報告

(令和5年4月1日~令和6年3月31日)

会員

区分	部会等		R5.3.31	増減	R6.3.31	備考
正会員	開業	1	308	△3	305	旧 AB
		2	57	△4	53	旧 CDE
	小計		365	△7	358	
	衛生・畜産	1	91	△9	82	旧 AB
		2	5	0	5	旧 C
	小計		96	△9	87	
	教育・研究他	1	74	△2	72	旧 AB
		2	13	△1	12	旧 C
小計		87	△3	84		
合計		548	△19	529		
名誉 会員	開業		2	0	2	
	衛生・畜産		2	4	6	
	教育・研究他		5	△1	4	
	合計		9	3	12	
賛助 会員	法人		31	△1	30	
	個人		0	0	0	
	合計		31	△1	30	
総合計			588	△17	571	

新会員 (令和5年4月1日から令和6年3月31日までに入会された会員)

区分	部会等		会員名 (受理順、敬称略) (()は勤務地)
正会員	開業	1	小池応幸(松原)、高田拓志(富田林)、小野寺智香(富田林)、藤田理公(貝塚)
		2	
	小計		4名
	衛生・畜産	1	
	小計		0名
	教育・研究他	1	伊藤暁史
	小計		1名
合計		5名	
賛助 会員	法人		近鉄不動産株式会社
	合計		1名
総合計			6名

会議等

役員会等開催概要		
定時総会	R 5.6.3	決議事項 令和4年度事業報告の件 令和4年度決算報告の件 定款の改正について 役員を選任について 報告事項 令和5年度事業計画の件 令和5年度収支予算の件 令和5年度資金調達及び設備投資の見込みについて 規則、規程等の改正について
理事会	R5.5.12	第77回総会の開催方法、報告・決議事項について 決議事項 令和4年度事業報告の件 令和4年度決算報告の件 定款改正について 役員を選任について 報告事項 令和5年度事業計画の件 令和5年度収支予算の件 令和5年度資金調達及び設備投資の見込みについて 規則・規程等の改正について
	R5.6.3	総会運営について
	R5.6.3	会長、副会長、専務理事及び常務理事の選定 執行理事の職務執行状況の報告
	R5.11.24	旅費規程の改正について 名誉会員規程の改正について 委員会委員の選任について 執行理事の職務執行状況の報告
	R6.3.8	令和6年度事業計画書について 令和6年度収支予算書について 令和6年度資金調達及び設備投資の見込みについて 執行理事の職務執行状況の報告

(部会：開業；(開)、衛生・畜産；(衛)、教育・研究他；(教)、五十音順、敬称略)

業務執行理事	会長（代表理事）：佐伯潤(開) 副会長：北原千春(開)・熊井優子(衛)・笹井和美(教) 専務理事：田中啓一郎((衛)事務局) 常務理事：淡路俊喜(開)
--------	--

理事	(開)：大下勲、坂口秀平、田村浩司、西村巖童 (衛)：中上昭二、橋詰克規 (教)：中井正博、三宅眞実
監事	佐藤昭司(開)、長濱伸也(衛)、秋吉秀保(教)
相談役	木下久則(開)、澤田勉(教)

会務運営会議 業務執行理事	業務執行理事、相談役と関係者を交え、会の実務の執行について企画、検討を実施しました。 (開催：R5/4/14、5/12、6/30、7/14、8/16、9/22、10/13、11/10、12/8、R6/1/19、2/16、3/29)
------------------	--

委員会名	委員名
広報委員会	委員長：田中啓一郎(衛) (開)：江口之朗、木下久則、白石佳子 (教)：秦敦朗、三宅眞実 副委員長(IT担当)：大下勲(開) (開)：中野康彦 (教)：川手憲俊 (開催：R5/9/19、11/2、11/21、11/24、12/14)
動物愛護推進委員会	委員長：淡路俊喜(開) 大阪動物愛護フェスティバル委員会委員長：西村巖童(開) (開)：生島広樹、今西修大、尾芝仁、北原千春、下西清夫、新山亮 松本賢治、安田圭一郎 (教)：中井正博、深田恒夫 (開催：R5/6/9、7/28、9/15、10/27、R6/2/15)
学校飼育動物推進委員会	委員長：大下勲(開) (開)：江口之朗、会亀昭夫 (衛)：熊井優子、樋渡清美、光野京子 (開催：R5/6/28)
動物救護等対策委員会	委員長：坂口秀平(開)、副委員長：山岸達郎(開) 大阪VMAT隊長：北原千春(開)、同副隊長：大下勲(開) (開)：佐藤光晴、志水孝臣、下西清夫、中津賞 (衛)：小泉典代、武田雅人、虎谷卓哉、橋詰克規 (教)：笹井和美、三宅眞実 (開催：R5/6/20、10/22、11/18、11/23、12/2、R6/3/4)
獣医学術委員会	委員長：田村浩司(開) (開)：淡路俊喜、佐藤昭司、佐藤光晴、(衛)：勝川千尋 (教)：秋吉秀保、相馬武久 (開催：R5/7/1、7/4、7/10、7/25、7/31、8/19、9/15、9/22、10/1、10/17、10/24、10/27、10/28、10/30、10/31、11/6、11/10、12/19、R6/1/10、2/3、2/8、2/21、2/29)
狂犬病等感染症対策委員会	委員長：三宅眞実(教)、副委員長：北原千春(開) (開)：黒川慶一、合原靖子、城塚隆宏、田丸尚道 (衛)：熊井優子、中上昭二、服部武裕 (教)：笹井和美、安木真世 (開催：R5/7/5、R6/1/10)

規律委員会	委員長：佐伯潤(開) 副委員長；北原千春(開)、熊井優子(衛)、笹井和美(教) (開)；淡路俊喜、坂口秀平 (衛)；田中啓一郎
-------	--

1 感染症対策事業

(1) 狂犬病予防推進事業

- ア 市町村が実施する狂犬病予防注射（以下「集合注射」という。）が、円滑かつ効率的に実施されるよう、また飼犬登録率の向上のため連携を密にした。
大阪府内 42 市町村（大阪市を除く。）と集合注射実施に向けて協議した。
（新型コロナ感染症対応など）
集合注射の中止や実施形態の変更等の対応が 10 の自治体でなされた。
- イ 予防注射の接種率の向上を図るため、会員動物病院にポスターを掲出し、あわせてまた、市町村各広報誌へ情報提供し周知啓発に努めた。
- ウ 本会が狂犬病予防注射業務研修をおこない、修了した会員獣医師 307 名を集合注射等協力獣医師として委嘱し、確認書の規定に基づき府内 40 市町村長へ推薦した。
- エ ワクチンによる事故情報を迅速に共有化することにより飼い主への不安軽減と注射の安全性向上を図り、また、狂犬病予防注射の事故等の迅速対応体制を確認するため連絡会議を開催した。
- オ 狂犬病予防注射接種による副反応やアナフィラキシー等有害事象について 4 件の報告があり、丁寧に飼い主に説明し、犬への治療対応も実施した。
- カ 本会が作成している、大阪府条例に規定された犬を飼っている旨の表示（門標・犬シール）を魅力あるデザインで作製し、飼い主に無料で配布して接種率の向上を図った。

周知啓発

- ホームページに掲載するとともに、市町村周知広報時に啓発文を掲載。
ポスター：会員動物病院(307 施設)と市町村担当窓口(42 カ所)に配布。

(2) 人と動物の共通感染症の対策に係る情報収集と啓発

- ペット動物の SFTS(重症熱性血小板減少症候群)抗体保有調査を大阪健康安全基盤研究所と協働連携し実施した。また、SFTS の情報についてホームページに掲載した。
- レプトスピラ感染症についての検査体制と公衆衛生に係る情報共有のシステムを、大阪公立大学の協力により構築した。
- 養鶏施設や野鳥などの高病原性鳥インフルエンザの発生による鶏肉、タマゴやペットの風評被害の発生がないように正しい情報の発信に努めた。

[情報発信対象] 会員、近畿地区獣医師会、各種団体、一般

[対応会員動物病院数] 307 動物病院

(3) 家畜衛生・食品衛生・畜産分野での周知啓発事業

家畜衛生、食品衛生、食肉衛生、畜産分野で最新情報を発信するためホームページに掲載するとともに、チラシ・掲示物で周知した。

豚熱の発生が、イノシシなどの野生でも確認された。豚肉の風評被害の発生がないよう正しい情報の発信に努めた。

農水省がすすめている魚病に詳しい獣医師事業に協力し、養殖場の疾病管理情報の発信と周知に努めるとともに協力獣医師リストに登載した。

2 動物愛護事業

(1) 大阪動物愛護フェスティバル事業

「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づく動物愛護週間の支援事業として、公益社団法人大阪市獣医師会と主催し、大阪府、大阪市との共催、環境省、公益社団法人日本動物福祉協会の後援により「命ある動物の愛護と適正な飼養についての関心と理解を深める」ため、「みんなともだち 地球の仲間」をテーマとして3年ぶりに大阪市中央公会堂で長寿動物表彰を行うとともに、会場に来られない飼い主のため、表彰式の様子をweb配信し、動物の愛護と適正な飼養について周知啓発した。大阪城公園太陽の広場での開催については、更に大規模なイベントのため、次年度に向けての準備期間とし、調整を行った。

ア 長寿動物表彰式 (Web 配信：2023/10/10～10/24)

[表彰基準] 大型犬：14歳以上、中・小型犬：16歳以上、猫：18歳以上 合計800頭表彰

[特別長寿表彰] 五月山動物園：ウォンバット：34歳

イ 講演会：「鴻池の犬」 林家卯三郎 様

ウ 動物愛護精神の涵養のため、長寿動物表彰を受けた動物の写真を展示した。

◎大阪城公園太陽の広場：中止

下記内容全て中止

ア 盲導犬の紹介と演技をとおして、身体障害者補助犬を正しく理解されるよう周知啓発する。

イ 警察犬、災害救助犬の紹介と演習をとおして、犬の訓練としつけが人の生活に必要なことを周知啓発するとともに動物と共存することの楽しさを伝える。

ウ しつけ教室を開催し、しつけの実技指導をとおして、より適切な管理を啓発する。

エ 無料動物医療相談を開設し、診療などへの質問、相談に応じる。

(2) 動物救護等対策事業

大阪VMA T（獣医療支援チーム Veterinary Medical Assistance Team）を、獣医療関係者（獣医師、愛玩動物看護師、動物病院スタッフなど）で構成運営し、災害時の避難所において、同行避難してきた飼い主が協力し合って動物を管理し、避難生活を開始するための「スターターキット」の考え方を学ぶ、自治体担当者を対象とした実習付き講習会を主催した。

2023/7/2：災害時の動物救護 ～指定避難所等への避難対策を考える～ 講師:平井潤子氏

大阪府や市町村の地域防災訓練にコロナ感染防止対策を行って参加し、ペット動物の同行避難や日頃の備えの周知啓発を実施した。

2023/9/1：大阪 880 万人訓練として会員の安否確認訓練を実施

2023/10/22：大阪狭山市 防災フェスタに参加

2023/11/18：泉南市・イオングループ合同防災訓練に参加

2023/11/23：富田林市防災フェアに参加

2023/12/2：大東市防災訓練に参加

ア 地域防災訓練等に併せて会員動物病院の連絡網の再確認と web による情報の共有化を実施した。

イ 災害発生における避難所へのペット同行避難について市町村へ周知するとともに、10 施設の避難所に配備したペット収容ケージ 70 台について確認した。

ウ 災害発生時に備えるため、「災害時動物救護協力病院」の確認と追加募集を行った。

エ 動物の個体識別のためのマイクロチップの普及啓発を行った。

逸走動物を早期に飼い主のもとに戻すため、公益社団法人日本獣医師会の個体識別措置推進事業と協働しマイクロチップの普及啓発を行った。

オ 自己完結型救護活動を目指し次の確認点検をおこなった。

災害時用テント 1 張り、小型テント 2 張り、簡易トイレテント 1 張り、折畳ベンチ 3 脚、折畳机 4 脚、折畳椅子 3 脚、カセットガス発電機 1 台、カセットガスストーブ 4 台、ポータブル電源 2 台、太陽光パネル 2 台、ペットキャリーバッグ 1 個、災害時用ケージ 70 台、投光器 2 台、ヘルメット 20 個、ヘルメットランプ 10 個、トランシーバー 6 台、災害本部幟旗 3 旗、カセットガスボンベ 48 本（ローリングストック 7 本/年）

カ 狂犬病予防ワクチン備蓄 3,150 頭分 協力病院 30 病院を確認

備蓄方法：流通在庫備蓄方式(ローリングストック方式)

キ 豚熱ワクチン接種支援可能獣医師リストの作成、登録

大規模な家畜伝染病発生時には行政から緊急支援要請が想定され、速やかに対応できるようにリストを作成し登録協力した。

(3) 野生鳥獣救護事業

大阪府野生鳥獣救護ドクターとして協働した。

野生鳥獣救護ドクター登録数：43名（内 特定救護3名）

救護等実績数：150件（内訳：鳥類145件、獣類5件）

また、特定非営利活動法人野生動物救護獣医師協会の講習会やポスター「ヒナを拾わないで」の掲示等の活動を後援し、大阪府のポスター「野鳥は自然のままに」とともに周知啓発した。

（4）その他

◎大阪府飼養管理サポート事業に連携協働

子猫受入動物病院：13病院、実施動物病院：6病院、サポート子猫：14頭

治療受入動物病院：3病院、実施動物病院：1病院、サポート犬：2頭

◎大阪府所有者のいない猫対策支援事業に連携協働

河内長野市の1地域1病院、岸和田市の2地域2病院、豊中市の1地域1病院において
避妊手術9頭、去勢21頭、助言相談4回

◎大阪府子猫育成サポート事業に連携協働

指定動物病院：12病院、実施動物病院：1病院、対象子猫：1頭

◎大阪府多頭飼育対策事業に連携協働

松原市案件ネコ8頭、河内長野市案件ネコ19頭、寝屋川市案件犬9頭について
17病院で計36件対応

◎大阪府適正飼養普及啓発事業

講師として会員獣医師を推薦し4か所で獣医療からの適正飼養を啓発した。

◎大阪府動物愛護推進協議会に佐伯会長、動物愛護推進委員会淡路委員長が委員として参画。

◎大阪府動物愛護推進員に会員を推薦。

◎大阪府動物由来感染症対策連絡会議に佐伯会長が委員として参画。

◎大阪府アライグマ被害対策検討委員会に佐伯会長が委員として参画。

◎大阪府畜産会衛生対策事業等に会員が参画。

3 学校飼育動物事業

（1）大阪府教育庁、学校教育関係者等への学校飼育動物に対する技術的指導、支援。

教育庁の市町村担当主事研修を支援した。今年度についても新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンデマンド開催となり、学校飼育動物推進委員会大下勲委員長が講師を務めた動画による研修を行った。

（2）各市町村学校における子どもたち等への学校飼育動物の講習会等への協力

学校飼育動物協力獣医師：55名

市町村教育委員会：42機関

対象小学校・支援学校：732校

学校での動物飼育の発表展示

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

学校飼育動物奨励表彰

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

学校飼育動物特別講義支援

2023/11/25：大阪大谷大学教育学部教育学科幼児教育専攻自然教育コース学生 40名

特別講義学外講師 学校飼育動物推進委員 大下勲先生

学校飼育動物推進委員会委員、大阪府立農芸高校ふれあい動物専攻生徒

がっこう動物新聞（壁新聞）第12号を配付

配付先：大阪府教育庁事務局市町村教育室小中学校課及び教育振興室支援教育課の2課、大阪府内（大阪市を除く）の各市町村教育委員会事務局：42事務局、大阪府内（大阪市を除く）の小学校：686校、支援学校：46校、本会会員の動物病院：308施設

4 学術普及事業

(1) 学会、研修、講習会の開催

1. 2023R5/8/5～6：第10回ペピイアカデミックフェスタ2023

「院内で実践可能なアニマルマッサージを学びましょう」

場所：Web（5日）、NK スクエア玉造（6日）

講師：森めぐみ先生（（一社）日本アニマルマッサージ協会 代表理事、アニマルマッサージインストラクター・トレーナー）

対象：愛玩動物看護師・その他動物病院スタッフ

2. 2023R5/10/31：「絶対成功する！初めての症例発表2023」症例発表練習会（zoom開催）

①症例発表練習会 3題

②アドバイザー：

鳩谷晋吾 先生 大阪公立大学大学院獣医学研究科細胞病態学研究グループ 教授

古家 優 先生 大阪公立大学大学院獣医学研究科獣医内科学研究グループ 准教授

秋吉秀保 先生 大阪府獣医師会獣医学術委員 大阪公立大学大学院獣医学研究科獣医外科学研究グループ 教授

3. 2023R5/12/3：学術セミナー第1回 「糖尿病」

「糖尿病の診断・治療アップデート～フリースタイルリブレの活用方法と様々な併発疾患のある症例の対応～」

場所：新日本カレンダー

講師：森昭博先生（日本獣医生命科学大学 獣医保健看護学科 獣医保健看護学臨床部門・准教授）

4. 2024/2/11：学術セミナー第2回 「内分泌疾患の診断・治療ブラッシュアップ！」
「クッシング症候群 ～ACTH 刺激試験はもういらぬのか？高脂血症治療でなんで
コルチゾール下がるのか？～ アジソン病の困った症例」（一部オンデマンド動画）
講 師：森昭博先生(日本獣医生命科学大学 獣医保健看護学科 獣医保健看護学臨床部門
准教授)

場所：新日本カレンダー

5. 2024/2/11 症例検討会 症例検討数 3題

座長：

森昭博先生（日本獣医生命科学大学 獣医保健看護学科 獣医保健看護学臨床部門准教授）

秋吉秀保先生（大阪府獣医師会学術委員、大阪公立大学大学院獣医学研究科獣医外科学研究
グループ 教授）

場所：新日本カレンダー

6. 2024/3/2：第11回ペピアカデミックフェスタ2024

「ゼロから始める糞便検査の総復習」

講師：酒居幸生先生（大阪公立大学獣医学研究科小動物臨床医学教室講師）

対象：愛玩動物看護師・その他動物病院スタッフ

場所：新日本カレンダー

(2) 学会、研修、講習会の共催、協力

1. 2023/4/1～15：大阪公立大学 第9回OMU-VMC web セミナー

2. 2023/6/16～18：日本獣医麻酔外科学会 第106回日本獣医麻酔外科学会学術集会

3. 2023/7/8～9：日本獣医臨床フォーラム WJVF 第14回大会

4. 2023/7/1～15：大阪公立大学 10回OMU-VMC web セミナー

5. 2023/8/20：日本獣医麻酔外科学会 第1回近畿地区講習会

6. 2023/8/22～24：日本動物病院協会 獣医師継続教育セミナー (JAHA 国際セミナー)

7. 2023/9/17：獣医学術近畿地区学会 産業動物学会、小動物学会、獣医公衆衛生学会

8. 2023/9/24：アニマルハーモニー大阪のつどい2023 ともにまもる～人と動物の安全のため
に～、ともにふれる～動物と一緒に楽しむ～、ともにまなぶ～生き物を知る～、ともにつ
なぐ～想いを伝える～

9. 2023/10/1～15：大阪公立大学 11回OMU-VMC web セミナー

10. 2023/10/8：日本獣医皮膚科学会 ひふゼミ2023

11. 2023/10/22：大阪公立大学共催馬飼養衛生管理地方講習会

「疼痛の治療について学ぶ（遠隔治療のとりくみ）について」

12. 2023/10/31～12/10：大阪公立大学附属獣医臨床センター VETDOCK2023 セミナー

13. 2023/11/10～12：日本動物病院協会 第174回JAHA国際セミナー
14. 2023/11/18～19：動物臨床医学会 第44回動物臨床医学会年次大会
15. 2023/12/8～10：日本獣医麻酔外科学会 第107回日本獣医麻酔外科学会学術集会
16. 2024/1/15～29：大阪公立大学 12回OMU-VMC webセミナー
17. 2024/2/25：大阪公立大学 13回OMU-VMC webセミナー
18. 2024/3/17：日本獣医麻酔外科学会 第2回近畿地区講習会

(3) 学会への参加発表の奨励、表彰

本会の公益事業の発展に貢献、功績のあったものに中村賞、会長賞を授与した。

1. 中村賞

秦 敦朗 様
石塚 譲 様
鳩谷 晋吾 様

2. 会長賞

関野 真司 様
田中 歩 様
大阪府立農芸高等学校

3. 令和6年挙行の各卒業式で成績優秀で将来の発展が期待できるものとして会長表彰状授与者

今中 大河 様 大阪府立大学獣医学科(R6/3/22)
大野 奈々子 様 大阪ECO動物海洋専門学校(R6/3/7)
中村 友音 様 大阪ペピイ動物看護専門学校(R6/3/21)

(4) その他

1. 学術情報等を掲載した会報を発行した。発行部数：750部

配布先：会員、近畿地区連合獣医師会構成獣医師会、関係行政機関、動物関係団体、薬業関係

2. 農林水産省の「養殖場における魚病診断等に協力できる獣医師」リストに協力し、魚病に関する研修などの周知を行った。

その他の事業

1. 獣医療に関わる者の待遇改善・福利厚生に関する事業として実施した。

(1) 社員並びにその親族への慶弔と見舞金の給付

日本獣医師会獣医師福祉共済事業で福利厚生を図った。

訃報に接して、供花、香典等で弔慰をしめした。(受信順、敬称略)

開業部会	〇〇〇 (本人)、〇〇〇 (父)、〇〇〇〇 (父)
衛生・畜産部会	〇〇〇〇 (父)
教育・研究他部会	〇〇〇〇 (本人)、〇〇〇〇 (本人)

(2) 獣医療証明様式などの頒布

日本獣医師会様式、マイクロチップを頒布した。

(3) 会員への情報提供等

会員専用ホームページから速報や訃報で、また文書で情報提供した。

2. 大阪府動物愛護管理基金寄附事業

大阪府動物愛護管理基金に寄附し、動物愛護・動物福祉の向上に資することを目的とする事業を実施したが、利益が生じなかったため寄附できなかった。